１．基本情報

体験談記入日（☆）	2024 年　1　月　13　日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	大阪大学経済学部
留学時の学年（☆）	3
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	☑交換留学　　□　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	カナダ・ブリティッシュコロンビア州
滞在都市（☆）	バンクーバー
留学先大学等名（☆）	ブリティッシュコロンビア大学
留学先での所属学部/研究科（☆）	サウダービジネススクール
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日（☆）	2023 年　　9 月　2　日
渡航先からの出国日（☆）	2023 年　　12 月　25　日
渡航先国での滞在期間（☆）	4 ヵ月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称	Managerial Economics
履修期間	Term1
授業時間（〇分×△回）	90 分×週二回
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	3
履修科目名称	Introduction to Marketing
履修期間	Term1
授業時間（〇分×△回）	90 分×週二回
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	3
履修科目名称	Logistics and Operations Management
履修期間	Term1
授業時間（〇分×△回）	90 分×週二回
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	3

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	出席・予習クイズ・課題・中間試験・期末試験
履修科目の制限等（あれば）	ほかの授業で基礎を学ばないと受けられないものがあるが、先生によっては交換留学生のために融通を利かせてくれる。
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業	友人・ドームメイトと話すときは基本英語。

科目の充実度等について	
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	留学生のためのサポートセンターがある。メールなどで申し込みが可能。また、友人にエッセイを採点してもらっている日本人もいた。
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	特になし。疑問点にはみんな懇切丁寧に対応してくださる。
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	いわゆる食堂のようなものはなく、店がいくつかキャンパス内にある。金額は高めで、毎日通うことはできない。
図書館について	大きな図書館が複数ある。テスト前は混雑しているので、使用したければ朝早くに行く必要がある。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	把握していません
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	多数あり。オリエンテーションの日に様々なクラブを見ることができる。
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	グローバル学生専用のサポーターがいる。
オリエンテーション等学校主催の行事について	
現地の学生との交流について	授業やクラブでたくさん会話することが可能。その他さまざまなコミュニティが存在するため、興味を持てば行ってみることをお勧めする。
他の留学生との交流について	交換留学生のコミュニティがあり、イベントも数多く開催されている。
学外での活動について(地域コミュニティー活動等)	特になし
長期休暇中の過ごし方	なし
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	eTA
ビザの取得手続について(申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	インターネット上で申し込み。1 週間前に取っておくと安心。
利用航空会社	United
入国の際の現地空港名	YVR(バンクーバー国際空港)
空港から滞在先への移動につ	タクシー

いて（交通手段や所要時間）	
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	入寮証明書や eTA を印刷し、経由地のアメリカで見せた。カナダに到着後は特に何も見せる必要はなかった。
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	滞在期間の都合上、特になし
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	無
奨学金名	
奨学金月額受給額（円）	
入国時に用意した金額	30 万円
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	頻繁に利用していた。日本からお金を受け取るのに時間がかかるため、持っておくと安心。
留学中に利用した銀行名	CIBC
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	キャンパスの近くに視点がある。来店予約をすれば、銀行員の方と 10 分お話しするだけで開設が可能。身分証明書などをたくさん持っていくと安心。
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	有
日本からの送金方法について	日本の銀行
1 ヶ月の生活費（目安）	8 万円（食費・娯楽費込み）
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等）	学生寮（Fairview Crescent）4 人でのシェアハウス。
家賃	4 ヵ月で
住居を探した方法・時期	4 月ごろから寮の申請が始まる。現地の友人にどの寮がいいのかをきいておいた。
荷物の運搬方法（ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	ハンドキャリー
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊。キャンパス内で野菜やその他食料を無料で手に入れることで安く抑えていた。
1 ヶ月の食費	3 万円

その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	現地の電話番号を使用。Tokumoba の SIM カードを日本で入手しておいた。
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	寮で Wifi を使うためには、家電量販店や通販でルーターを購入する必要がある。30～100 ドルほど。校内はどこでも Wifi がつながる。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	
郵便について	キャンパスの近くにある。日本に手紙を出すと、航空便で 1 週間ほどで到着する。
交通機関について	バスが便利。帰国してすぐに compass card を手に入れて、連携しておく。
治安について	キャンパス周辺の治安は良いが、時々大麻のにおいがする。ダウタウンのチャイナタウンのあたりは一人で歩くことを避けた方が良い。
保険について	日本で東京海上日動火災保険の海外留学保険に加入。現地では Imed に加入する。何度も熱が出たり、大けがもしたりしたが東京海上日動にすべて補償してもらえた。
医療機関・薬について	いわゆるコロナのような症状が出た際は、制度上、病院に行く子度ができなかった。オンライン診療で薬などをもらい、最寄りの薬局で受け取る。
気候と服装について	9～10 月は比較的暖かい。それ以降は寒くなり、雨の日も増える。
普段の買い物について	バスに乗ってスーパーに買い物に行く。
娯楽・行事について	友人達で一番盛り上がるのはハロウィン。クリスマスはみんな地元に帰る。 普段はダウンタウンやビーチなどで遊んでいた。
日本語の使用について	日本人が多数いるので、使う機会も多かった。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	洗濯用品（ネットや洗濯ばさみ）が役立った。雨がよく降るので、長靴を持参していけばよかった。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	英語の勉強
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セ	8 月までにインターンに日本で参加し、就活の基本に慣れて

ミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	おいた。
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	留学中はオンラインセミナーやオンラインインターンに参加した。

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	IELTS（過去問を解く、動画などで対話の練習をする）
留学中の学習方法、工夫したこと等	英語の Youtube を見て息抜きをする
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	ネイティブとの会話がスムーズにできるようになった、経済学の用語の理解

８．その他

留学して得られたこと	
留学中に困ったこと	体調を崩したり、けがをしたりしたこと。想定外は基本起きると思った方が良い。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	大阪大学の先輩方の体験談。

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

私が留学に行きたいと思った動機は、学問を英語で学びたいと思ったのもその一つですが、「いろんな人と話してみたい」というものでした。幼い頃から外国の方と話すことは多かったですが、やはり英語力の乏しさや異文化理解が足りていないことを自覚していました。そこで、多様な価値観の中に身を置いてみたいと考え、留学をしたいと考えていました。

その中でも私が UBC に留学を決めたのは、協定校の中でもトップレベルであること、講義の種類が充実していること、そして留学生が多く様々な価値観を持っている学生が多いことの三つが理由です。

部局間留学ということで、私は Sauder Business School に派遣されました。大阪大学経済学部と大きく異なる一つの要素は、授業内での先生・生徒間のコミュニケーションの多さです。特に、Introduction to Marketing という授業では毎回授業内にグループワークがあり、生徒間の対話

が非常に重要視されていました。この授業では、授業内のグループワークに加えて、4 か月かけてマーケティング案をグループで動画にまとめるという課題もありました。リサーチや、ターゲットとマーケティング案の発案をグループで協力して行いました。忙しい学生が多い中でうまく役割分担をしてスムーズに進めることは難しいことでしたが、最終評価で良い結果を残せたことは、私の留学生活の中で最も印象に残っています。この授業が、私の英語でのディスカッション能力の向上に一番寄与したと考えます。

加えて重要だったのは、予習です。すべての授業で懇切丁寧な説明がなされますが、わからない単語ももちろん出てきます。また、授業内だけの理解ではすべてのテストで苦労する印象でした。そのため、週二回の授業であっても必ず教科書を読み、わからない単語は調べて授業に臨むなどの対策をとりました。それでもわからないことはもちろんたくさんあるので、授業中に即座に辞書を引いたり、先生に質問を積極的に投げかけたりしました。（先生方は非常にフランクで、名前と顔も覚えてくださいます。）

加えて、授業内容として興味深かったのは、Logistics and Operations Management です。今まで学んだことがない「物流」という分野で、効率的な物流を実現するにはどうすればよいか、どの段階で物流が滞っているのか、などを計算ベースで学びました。想像以上に実生活や身近なものに関係している分野で、将来仕事でも携わってみたいと思いました。

学問以外での学びも多くあります。私は Agora Cafe というキャンパス内のカフェでボランティアをしていました。他の学生との会話を楽しみながら接客をし、組織の中で自分の役割を見出しながら働くことが非常に楽しかったです。キャンパス内にはこのようなカフェがほかにもあり、低価格で軽食をとれる上に、週に一度ほど無料で食事を提供してくれるので、円安におびえていた私にとっては天国でした。

最後に、留学を考えている学生の皆さんへ。突発的な行動力を大事にしてください。私は経済的余裕も全くありませんでしたし、英語も日常会話ぐらいしかできませんでした。しかし、一度行動を起こしてみれば、何とかなります。留学中も様々なけがといったトラブルや気分が落ち込むことも多々ありましたが、周囲の人を頼っていれば、何とかなります。留学を少しでも考えていれば、動機は何であれ、行動を起こしてみてください。想像以上の達成感を味わうことができると思います。そして、皆さんの留学先の候補に UBC があるといいなと思います。バンクーバーという比較的穏やかな土地では、様々なバックグラウンドを持った人たちとの交流や、スポーツを楽しむことができます。(私はスケート中に大けがをしましたが。)ぜひ挑戦してみてください。